

科目名 (科目番号)	核医学検査技術学Ⅱ (時間割参照)	教員名	根本 広文	学科等	診療放射線	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	各担当教員シラバス参照	
授業概要	核医学検査に用いられる放射性医薬品、検査原理、検査・治療方法、適応などについて学習する。具体的な内容は、脳神経系核医学検査、内分泌系核医学検査、呼吸器系核医学検査、循環器系核医学検査、消化器系核医学検査、泌尿器系核医学検査、骨・関節系核医学検査、血液・造血臓器系核医学検査、腫瘍・炎症系核医学検査、ポジトロン核医学検査および核医学治療である。							
目的・目標	目的：放射性医薬品学、核医学検査技術学Ⅰの復習を行い、検査に対する理解を深める。 目標：臨床実習や国家試験に向けた内容を学習し、その知識を習得する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	核医学検査技術関連の総復習	到達目標：ここまでで学んだ核医学検査技術関連の内容を知識として定着する。 学習内容：核医学検査技術学、放射性医薬品学の内容を総復習する。					
	2	循環器(血流)	到達目標：循環器系(血流)のシンチグラフィを理解する。 学習内容：循環器系(血流)の核医学検査を学習する。					
	3	循環器(代謝)	到達目標：循環器系(代謝)のシンチグラフィを理解する。 学習内容：循環器系(代謝)の核医学検査を学習する。					
	4	脳神経(血流、定量、代謝)	到達目標：脳神経系(血流、定量、代謝)のシンチグラフィを理解する。 学習内容：脳神経系(血流、定量、代謝)の核医学検査を学習する。					
	5	内分泌	到達目標：内分泌系のシンチグラフィを理解する。 学習内容：内分泌系の核医学検査を学習する。					
	6	呼吸器	到達目標：呼吸器系のシンチグラフィを理解する。 学習内容：呼吸器系の核医学検査を学習する。					
	7	消化器	到達目標：消化器系のシンチグラフィを理解する。 学習内容：消化器系の核医学検査を学習する。					
	8	泌尿器	到達目標：泌尿器系のシンチグラフィを理解する。 学習内容：泌尿器系の核医学検査を学習する。					
	9	骨・関節	到達目標：骨シンチグラフィを理解する。 学習内容：骨・関節系の核医学検査を学習する。					
	10	血液・造血臓器	到達目標：血液・造血臓器系のシンチグラフィを理解する。 学習内容：血液・造血臓器系の核医学検査を学習する。					
	11	腫瘍・炎症	到達目標：腫瘍・炎症系のシンチグラフィを理解する。 学習内容：腫瘍・炎症系の核医学検査を学習する。					
	12	ポジトロン核医学（１）	到達目標： ¹⁸ F-FDG PET腫瘍・炎症検査を理解する。 学習内容：ポジトロン核医学検査を学習する。					
	13	ポジトロン核医学（２）	到達目標： ¹⁸ F-FDG以外のPET検査を理解する。 学習内容：ポジトロン核医学検査を学習する。					
	14	核医学治療	到達目標：核医学治療の原理および治療方法を理解する。 学習内容：核医学治療を学習する。					
	15	総 括	到達目標：全授業を総括し核医学検査技術学Ⅱの理解を深める。 学習内容：此れまでの授業の要点を振り返り学習する。					
成績評価の方法・基準	小テスト(20%)、期末試験(80%)により評価する。（対面・オンライン共通）							
教科書	放射線技術学シリーズ 核医学検査技術学 改訂4版			大西英雄・市原隆・山本智朗		オーム社		
参考図書	超実践マニュアル 核医学 核医学技術総論 [技術編]、[臨床編]			對間博之・飯森隆志・甲谷理温 日本核医学技術学会：編		医療科学社 山代印刷株式会社		
教員からのメッセージ	核医学検査に必要な臨床的知識を習得し、核医学検査内容・方法及び核医学治療について学習しましょう。 講義毎に行う小テストで核医学検査技術学の学習内容の理解度を確認する。 病院で勤務した診療放射線技師がこの授業を担当する。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、クラスルームで周知する。							